

SADAI TOPICS

さまざまな分野に対して“チャレンジできる”環境が整った佐賀大学では、
様々なコンテストで受賞した先輩や、在学中に起業した先輩など、活躍している人たちがたくさん。
そんな先輩たちの実績の中から一部をご紹介します。



理工学部の浅川泰輝さんが さがラボチャレンジカップ2020で最優秀賞受賞。

理工学部の浅川泰輝さんは、2020年10月6日に開催された佐賀県主催のビジネスプランコンテスト「さがラボチャレンジカップ2020」で最優秀賞を獲得しました。同学部の小田武尊さん・大山達也さんと協力して発表した「コロナ社会での飲食店を応援するモバイルオーダーシステムの開発」が、高い情報技術と事業に対する熱い思いが高く評価されました。佐賀大学理工学部からは、昨年度の優秀賞に続き2年連続の受賞。浅川さんは受賞を機に株式会社AS（あず）を起業し、引き続きモバイルオーダーシステムの開発に取り組んでいます。



理工学部
浅川 泰輝さん

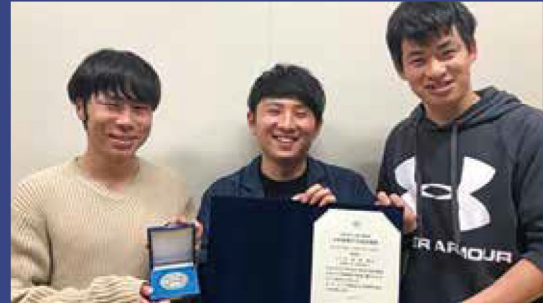


Webアプリ
「AS Order」



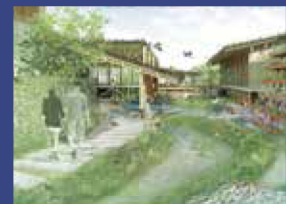
学生ベンチャー企業・ロケモAIが 吉野ヶ里町で2つのサービスを開始。

本学学生ベンチャー企業である合同会社ロケモAI（ろけもあい）は、佐賀大学理工学部、吉野ヶ里町との三者連携協定に基づき、昨年より吉野ヶ里町で2つのサービスを開始しました。町内の消火栓／防火水槽の位置情報を共有できる「消防水利マップ」と、町有の施設をオンラインで確認できる「公共施設予約管理システム」は、いずれも合同会社ロケモAIが開発したオンラインマップサービス「ロケモシェア」の機能をベースに開発されたもので、今後ますますの活用が期待されています。



日本建築学会設計競技において 佐賀大学の建築系コース3名が初受賞。

理工学研究科理工学専攻建築環境デザインコース修士課程の土田昂滉さん、西田晃大さん、森本拓海さんが、日本建築学会の2020年度支部共通事業・日本建築学会設計競技において優秀賞を受賞しました。「建築環境デザイン特別演習Ⅱ」の授業で作成された本作品は、佐賀市のクリーク沿いの街並みを対象に、その地域の自然空間に住みたい皆さんの小さな隣人（鳥類、魚類、昆虫類などの生物）たちに寄り添うような、新たな住まいの在り方を提案しています。佐賀大学の建築系コースとして、初の優秀賞受賞です。



産官学連携で開発した 小城羊羹「合格ようかん」を商標登録。



小城羊羹の製造・販売を行っている有限会社桜月堂と、佐賀大学芸術地域デザイン学部の学生が商品化した「よ〜うかん」が商標登録されました。この商品は、九州経済産業局と特許庁が実施した事業「九州ブランド総選挙」に参加した本学学生が、「ベストビジネスプラン賞」を受賞したことをきっかけに商品化されたもので、昨年度は福岡・佐賀で販売。第79回虎屋文庫資料展・再開御礼！「虎屋文庫の羊羹・YOKAN」展でも紹介され、大変好評をいただきました。